

水の機能

物を溶かすことで、栄養素の消化・吸収、物質の生体内輸送や排泄を助ける。

ものを溶かすことで、生体内栄養素などの代謝反応の場を与えている。

水自身、化学反応における反応体として機能している。

熱容量が大きい。すなわち、比熱が大きく、熱伝導率が高い。気化熱（約580 cal/g, 凝縮熱と等しい）や凝固熱（約80 cal/g, 融解熱と等しい）が大きい。